

『ぶつゆいきようぎよう 仏遺教経』

〔ぶつしりやくせつきようかいきよう 仏垂般涅槃略説教誡経〕

ようしん 姚秦三蔵法師鳩摩羅什奉詔訳

釈迦牟尼仏、初に法輪を転じて、あにやきようじんによ 阿若憍陳如を度し、最後の

説法にしゆぼつたら 須跋陀羅を度したもう。まさ 応に度すべき所の者は、皆已に

度しおわ 訖つて、娑羅双樹の間に於て、まさ 将に涅槃に入りたまわんと

す。じやくねん 是の時中夜寂然として声無し、もろもろ 諸の弟子の為に略して

法要を説きたもう。